

水しぶきと共にはじける
情熱を伝える会報誌

飛沫 Vol.38

HIMATSU

同志社大学水泳部OB・OG会 | 2023.November

DUS創部史上初 女子シード権獲得!!



インカレの魅力

強化スタッフ
平成7年商学部卒

川中恵一



同志社大学水泳部を応援してくれている皆さん、いつもありがとうございます。

2023年のインカレは、女子が梶本の400m個人メドレー優勝など、個人種目、リレーで多くの入賞を果たし、総合7位で初のシード権獲得という、素晴らしい結果で幕を閉じました。

男子は猿山が50m自由形で4位、キャプテン十亀の200mバタフライがB決勝3位と少し寂しい結果でしたが、よく頑張りました。最上級生として最後のインカレを存分に楽しめたのではないのでしょうか。

私は数年前から「強化スタッフ」という肩書がありますが、インカレなどの主要大会を応援するのがやっとで、これといった貢献ができていません。仕事とのバランスを考えると今はこれが精一杯です。しかし自分なりのやり方で関わることが、大学スポーツの良さ、DUSの魅力なのかもしれません。

新型コロナウイルスが第5類に移行し入場制限がなくなった今年は、満員のスタンドで皆が声を枯らして応援していました。科学的なトレーニングが導入され、競技レベルも随分上がった競技競技です。

が、インカレを包む空気は当時と変わらず、そこには独特の緊張感が漂っていました。

「そうだった、インカレは一日に何発も泳ぐもんな〜しんどかったな」

専門種目以外のリレーで躍動する選手の姿に30年前の自分を重ね合わせ、東京アクアティクスセンターのスタンドで思いを巡らせていました。

1991年3月。高校最後の大会は静岡県修善寺で行われていた日本短水路選手権。会場への往路はスミングススクールのコーチと一緒に、復路は大学の先輩の車で、そのまま田辺キャンパスの体育ハウスでした。ベッドも用意されておらず、床にフルサイドコート敷いて寝たのを覚えています。

同期の納谷と大河内は私より数日前に入寮していて、挨拶もそこそこ3年半の寮生活がスタートしました。当時は学生自治が今よりも色濃く、大らかな時代でしたので、寮での規則から練習メニューの作成スケジュール管理もすべて学生が行っていました。中にはよくわからない決め事や、理不尽なこと多かったけど、若さゆえの適応力ですぐに慣れてしま

ます。

6月の日本選手権では初の代表に選ばれたパン・パシフィック選手権へ。翌年にはバルセロナオリンピックへと出場するのですが、代表合宿以外は体育ハウスでの生活です。毎晩のように、吉野家の牛丼と横綱ラーメンで空腹を満たしました。栄養満点の食事です。

日本代表に選ばれても、大学生はインカレがメインイベント。インカレに向けて1年間のスケジュールが組まれます。社会人になったばかりの頃は夏をピークにしたこの生活が懐かしく、物足りなく感じることもありました。1年間の練習の成果が問われるインカレ。当時は3日間の競技スケジュールで、レギュラー選手はフル回転です。個人種目が2つとリレーが3つ。しかも関東の大学のようにはリレー種目の「予選要員」はわずか3日間、100mレースを予選から全力で泳ぐのがインカレでした。バタフライの選手は2日目が大変です。

100mバタフライとメドレーリレーがあり、競技の間隔が短く、水着を着替える時間もありません。プールサイドに敷いた毛布の上で、マネージャーや控え選手が数人がかりでマッサージしてくれました。疲れ切っているはずなのに、どこからかチカラが湧いてくる。チームの為に戦うのがインカレの魅力でした。



活躍する。日本代表に選ばれる。オリンピックでメダルを獲得。競技者として自分なりの目標を追い求めるのは当然です。しかし、思うような成果をあげるのは一握りの選手。殆どの人が思い描いた結果ではない「現実を受け入れること」になります。私自身もオリンピック後の2年間は思うような記録が出せずに苦労しました。再び日本代表に選ばれたことのないまま最終学年。福岡のインカレで、得意ではない100mバタフライで優勝できたのは、献身的に世話をしてくれたスタッフのチカラ、そしてなんと最後までに勝って皆を喜ばせたいと本気で想えたからでしょう。

インカレを目指したあの日々で何を学んだのか? 思い出すのは、寮の前で花火をしたこと。鳥取砂丘まで皆でドライブしたこと。田辺のリザーブ用地(後に校舎が建設された空き地)でバタを捕まえて、プールで泳がせたことなど。どうしてもいいことはたくさんありますが、最高に楽しい4年間でした。

限られた時間を共に過ごした仲間、時代や立場は違っても、DUSを応援した記憶が皆さんの生活を豊かに彩っているはず。現役のみなさんは残された現役生活を懸命に取り組んでください。そして、引退したら一緒にDUSを応援しましょう。

新幹部の ご挨拶

同志社大学体育会水泳部

主将
橋本 響



この度、水泳部の100代目主将を務めさせて頂くことになりました。3回生の橋本響です。

まず初めに、OB、OG、そして保護者の皆様へ、心より感謝申し上げます。貴重なご支援とご助力により、水泳部は成長し続け、100周年を迎えることができました。これから皆様と共に歩み、部員たちが一層輝けるよう尽力してまいります。これまでのご支援に感謝し、これからも変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新シーズンも始まり、現在は来年のインカレに向けて強化しているところです。レクリエーションから特に意識していることはコミュニケーションです。人数が少ないからこそ、コミュニケーションをこまめに取ることで、チームの一体感を高め、マネージャー問わず積極的に、部員同士の相互理解を深めていきたいと考えています。また、その中でも意識していることは上からの一方的なものにならないこと

とです。新チームが始まってからミーティングを定期的に行い、下回生の意見もきちんと取り入れるようにしています。そして、チームとしてのモチベーションの向上だけでなく、個々人の成長に繋げていきたいと思っています。そして、チーム全員が楽しく競技に集中出来るような環境づくりをしていこうと思っています。



最後にになりますが、インカレに向けてチーム一丸となって目標に向かって取り組んでいきますので、暖かいご声援のほど、よろしくお願いいたします。

女子主将
渡会 円香



この度、同志社大学水泳部女子主将を務めさせて頂いたことになりました。渡会円香です。まずは、日頃より水泳部OB・OG会の皆様、スタッフの方々、保護者の皆様には水泳部への多大なるご支援、ご協力ありがとうございました。水泳部創立100周年に恥じないようなチーム、女子主将になれるよう1年間頑張っていきます。

新チームになり女子が設定した目標は、「1人30点以上獲得、シード権死守」。昨シーズンの目標であった女子シード権獲得を達成することができ、私自身もこれまでの水泳人生の中で最も嬉しかった瞬間でした。そこで来年のインカレはシード権獲得校としてシード権死守はもちろん、昨シーズンの獲得点数148点を超え、ひとつでも順位を上げれるように一人一人がチームの一員であるという自覚を持ち、あの感動をもう一度チームの皆さんで味わえるように頑張りたいと思います。

また、私は10月から学校練習と一緒に練習することになり、これまでスイミングで練習していたので環境がガラッと変わりましたが、毎日充実しています。時には苦しいけれど、辛いこともありすが、共に戦うチームメイトと助け合い、支え合いながら一日一日を大切に過ごしていきたいなと思っています。最後になりますが、今後とも温かいご声援のほど、よろしくお願い致します。

副主将
説田 啓佑



この度、水泳部の副将を務めさせて頂くことになりました。3回生の説田です。私は副将としてチームの中心を担う主将橋本を支え、一人一人の意識を高めていき、水泳に熱中できるようなチームの雰囲気を作っていきたいと思っています。

またチームの最上階生として、これまでの先輩方から受け継いだ伝統や経験を活かしていっていき、100代目の権威を残せるよう精一杯努めていきます。

次に個人的な話にはなりますが、私は大学に入学するまで、個人種目で全国大会に出場したことはありませんでした。しかし振り返ってみると、大学生2年生時に初めて全国に出場することができ、専門の自由形でも今年になってレギュラーを獲得し、リレーメンバーにも入ることができ、日々の成長を感じています。このような結果が出せているのは、明確な理由があります。OB・OGを含め、たくさんの方々の支援の下、素晴らしい環境で練習に取り組めていたこと。また上下関係なく泳ぎを教え合うことが出来るフラットな関係性を作ってきた先輩方。インカレに向かって全員で声を出し合い、常に上昇志向を持っているチームメイト。このような環境があるからこそ、こまめに水泳に熱中できているのではないかと感じています。

出せているのは、明確な理由があります。OB・OGを含め、たくさんの方々の支援の下、素晴らしい環境で練習に取り組めていたこと。また上下関係なく泳ぎを教え合うことが出来るフラットな関係性を作ってきた先輩方。インカレに向かって全員で声を出し合い、常に上昇志向を持っているチームメイト。このような環境があるからこそ、こまめに水泳に熱中できているのではないかと感じています。

私自身、来年在最後のインカレになりま。毎日の小さな積み重ねが大きな結果を生み出せることを後輩たちに証明したい。最後のレースが笑顔で終われるように今まで以上に努力をしてこの一年間を過ごしていきたいと思います。

最後にになりますが、僕たちの最終目標であるインカレに向けてチーム一丸となって励んでいきますので、応援ご支援の方をよろしくお願い致します。

最後にになりますが、僕たちの最終目標であるインカレに向けてチーム一丸となって励んでいきますので、応援ご支援の方をよろしくお願い致します。

主務
須藤 颯



この度、主務を務めさせて頂いたことになりました。3回生の須藤颯です。

100代目という節目の年に同志社大学水泳部を引っ張っていく立場にあることの

自覚と責任を徐々に感じております。今シーズン開始後も「闘争を念頭に良い雰囲気練習に取り組めており、今後も橋本新主将を中心に同志社大学水泳部という看板に恥じぬようチーム全体で努力してまいります。

さて、インカレが終わって1ヶ月が経ちました。昨シーズンは苦しい局面もありましたが、見事女子シード獲得となりました。今でも、あの感動を思い返すことがあります。私個人の話になりますが、3年間1度もインカレの舞台で泳いだことがありません。順調だと思っていた水泳人生から、一気に転落し、悔しさと恥ずかしさで試合への恐怖が大学に入ってからはずっとありました。何度も辞めようと考えました。しかし、それでも僕を信じて止めてくれた両親や先輩、様々な人への感謝でいっぱいです。残り1年もない水泳人生を本気で打ち込み笑顔で終わりたいと思います。また、「もう1度全国へ」という思いのもと悔いの残らないよう全力で努力します。また、チームの先頭として表として主務として裏からも支え盛り上げていきたいと思っています。

インカレの舞台までの1年間チーム一丸となって突き進んでいきます。本年度も温かいご声援のほど宜しくお願いいたします。

インカレの舞台までの1年間チーム一丸となって突き進んでいきます。本年度も温かいご声援のほど宜しくお願いいたします。

DUS記録会〈令和5年10月1日(日)〉

令和元年より開催できておりませんでした『DUS記録会』を、本年は開催することができました。時折雨に見舞われましたが、晴れ間ものぞき気温も高めです。寒さを感じることもありませんでした。

参加クラブは、同志社香里中高校・同志社国際中学校・太成学院大高校・城陽 SS・KSC タナベ・千里丘 SP・FINE STで、小学生から高校生までの122名、エントリー種目252種目での開催でした。

選手に負けまいと、OB・先生・コーチの方が張り切って泳ぐ“大人の姿”がちらほらと見れました。

レース後の『ワンポイントレッスン』は、コロナ禍前と変わらず大好評で、現役部員にとっても指導する立場での経験ができたのではないのでしょうか。

今回は現役部員に経験者がおらず課題もありましたが、好評のうちに大会を終えることができました。



OB・OG会のLINE公式アカウントを開設しました！

OB・OG会の活動状況

現役学生の練習・大会のご案内

などリアルタイムにアップしますので、ご登録お願いいたします！※



※ご登録時、LINE名では分からない場合がございますので、“氏名”と“卒年”のメッセージ送信をお願いします。



大会結果ご報告



第99回 日本学生選手権水泳競技大会 in 東京アクアティクスセンター



団体の総合順位

男子

20.5点/18位

女子

148.0点/7位

シード権
獲得!



リレーの成績



個人の成績

男子400mフリーリレー	長島 京志郎	51-36	予選18位
	猿山 翔太	50-32	
	峰尾 迅	52-62	
	説田 啓佑	51-68	
		3-25-98	
男子400mメドレーリレー	田中 大雅	1-00-44	予選27位
	橋本 響	1-02-90	
	十亀 正暉	55-05	
	若杉 拓翔	52-02	
		3-50-41	
男子800mフリーリレー	長島 京志郎	1-52-56	予選21位
	説田 啓佑	1-53-18	
	根倉 悠樹弘	1-54-87	
	若杉 拓翔	1-56-10	
		7-36-71	
女子400mフリーリレー	渡会 円香	57-51	予選15位
	梶本 一花	57-29	
	藤本 穂	57-46	
	林 希菜	58-85	
		3-51-11	
	渡会 円香	57-21	B決勝7位
	梶本 一花	57-40	
	藤本 穂	57-37	
	林 希菜	59-27	
		3-51-25	
女子400mメドレーリレー	渡会 円香	1-02-34	予選10位
	橋本 萌夏	1-12-43	
	藤本 穂	1-00-55	
	梶本 一花	56-81	
		4-12-13	
	渡会 円香	1-02-36	B決勝2位
	橋本 萌夏	1-12-82	
	藤本 穂	59-39	
	梶本 一花	56-81	
		4-11-38	
女子800mフリーリレー	梶本 一花	2-01-39	予選8位
	林 希菜	2-06-04	
	渡会 円香	2-03-44	
	藤本 穂	2-02-93	
		8-13-80	
	藤本 穂	2-02-43	決勝7位
	林 希菜	2-07-10	
	渡会 円香	2-05-42	
	梶本 一花	2-00-36	
		8-15-31	

男子50mフリー	猿山 翔太	22-79 22-61	予選6位 決勝4位タイ
男子100mフリー	猿山 翔太	51-15	予選32位
男子200mフリー	説田 啓佑	1-53-69	予選44位
	長島 京志郎	1-53-15	予選33位
	根倉 悠樹弘	1-55-51	予選65位
男子400mフリー	長島 京志郎	4-04-76	予選47位
男子100mバタフライ	十亀 正暉	54-85	予選40位タイ
	峰尾 迅	55-48	予選57位
男子200mバタフライ	十亀 正暉	1-59-43 1-59-28	予選11位 B決勝3位
	田中 大雅	2-03-33	予選40位
男子100m 背泳ぎ	峰尾 迅	59-95	予選69位
男子100m 平泳ぎ	岡元 海風	1-02-93	予選35位
	橋本 響	1-02-77	予選31位
男子200m 平泳ぎ	岡元 海風 橋本 響	2-16-89 2-17-94	予選38位 予選45位
男子200m個人メドレー	田中 大雅	2-08-99	予選50位
女子800mフリー	梶本 一花	8-40-91 8-38-51	予選3位 決勝3位
女子100mバタフライ	林 希菜	1-01-01 1-00-92	予選16位 B決勝7位
	杉山 わか菜	1-04-49	予選53位
	藤本 穂	59-60	予選4位
		59-71	決勝5位
女子200mバタフライ	林 希菜	2-13-37 2-13-44	予選10位 B決勝1位
	藤本 穂	2-10-98	予選4位
		2-10-43	決勝3位
女子100m 背泳ぎ	渡会 円香	1-02-06 1-01-45	予選2位タイ 決勝4位
	白石 楓佳	1-06-05	28位
女子200m 背泳ぎ	渡会 円香	2-15-11 2-13-73	予選4位 決勝4位
	白石 楓佳	2-23-17	予選32位
女子100m 平泳ぎ	橋本 萌夏	1-12-92	予選37位
女子200m個人メドレー	杉山 わか菜	2-26-80	予選44位
女子400m個人メドレー	梶本 一花	4-48-27	予選3位
		4-40-02	決勝優勝

第99回 日本学生選手権水泳競技大会 【マーメイドカップ】 in 横浜国際プール

デュエット	中村 吉佳・加藤 綺良々	8位
-------	--------------	----



創部100周年式典開催のご案内

いよいよ来年に創部100周年を迎える事となりました。この節目の年に、女子はシード校としてインカレに出場することが出来ます。ぜひ会場で学生スタッフ・OBOG・保護者の皆様と一体となって、“シード校でのインカレ”を味わってみてはいかがでしょうか！
さて、100周年を迎えるにあたり下記の通り式典を開催いたします。特に若い世代のOB・OGの皆さまには、交流の場としてぜひご参加いただければと存じます。

開催日 2024年10月19日(土)

会場 ホテルオークラ京都
〒604-8558 京都府京都市中京区 河原町御池

昔の資料をお貸しください。

創部100周年記念冊子の制作にあたり、OB・OGの皆様がお持ちの貴重な資料をお貸しください。

写真、資料、映像、盾・トロフィー等のような物でも結構です。

お預かりした貴重な資料は複製の上、ご返却させていただきます。

送付頂く際は、お手数ですが、「資料の背景や登場人物の名前など」を添えて頂けると光栄です。

資料の送付先

株式会社一向社 記念冊子編集担当: 岩田 (H9卒)

〒553-0001 大阪市福島区海老江5-5-7

TEL: 0120-150-585

来る令和6年3月10日(日)

「令和5年度OB・OG総会」の開催を予定しております。追いコン・新入生歓迎会も併せて開催いたしますので、皆さまお誘い合わせの上ご参加ください。

タイムスケジュール

OB・OG総会 13:00～

追いコン・新入生歓迎会 14:00～

※校祖墓参はありません。

会場

がんこ 梅田本店

〒530-0012

大阪府大阪市北区芝田1丁目5-11

猪井梅田ビル1～3階

Googleマップでみる



Happy Wedding
ご結婚おめでとうございます!

平成29年度卒
佐々木 二千翔さん

平成27年度卒
大橋 雅史さん